

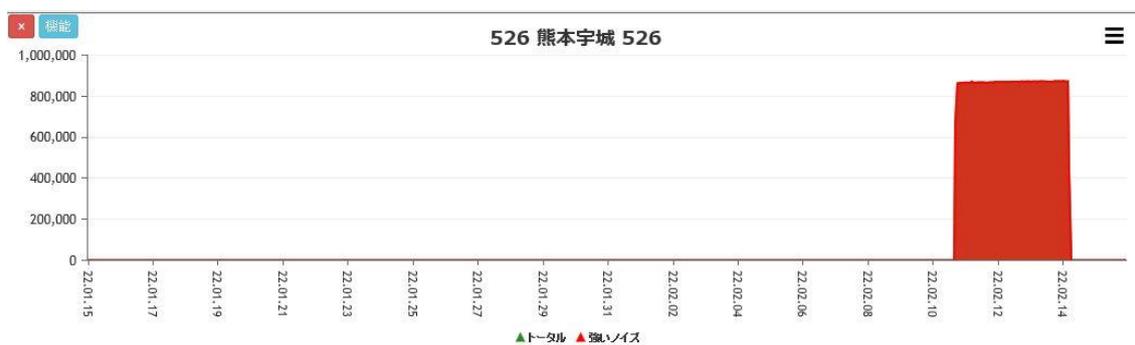
2月10日に熊本宇城に、急にMAX80万を超える真っ赤な巨大データが出現しました。データの出現時の最初の立ち上がりは 山口の柳井のデータと同期していたようですが熊本のデータはその後減衰せず壁立ち状になっています。また周囲のデータを見ると、大分県、愛媛宇和島、鳥取米子などがいずれも小さいながら収束傾向がみられます。熊本のデータはまだ減衰してきていないことから、大分県、愛媛宇和島、鳥取米子などの周囲のデータの減衰は熊本関連でなく、同じタイミングで収束してきている和歌山—Aの関連の可能性があります。

また、この和歌山—Aの収束のタイミングが、同じタイミングで収束してきた浜北 017の巨大なデータにも関係していると考え、中部、東海地区から関西までの広範囲の大きな地震につながる可能性も考えられます。

いずれにせよ、九州はこれからですが、中部、東海から関西地区は十分な警戒が必要で、さらに明後日の満月で大地震の発生しやすいトリガーの期間にかかるので、その意味でも警戒が必要と思われます。

以下のデータを参考にしてください。

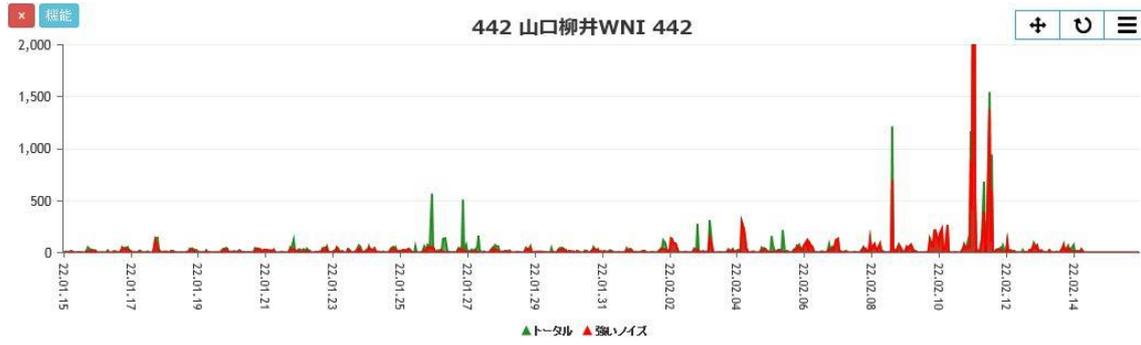
熊本宇城 30日間データ



熊本宇城 30日間データ (拡大)



山口 柳井 30日間データ (拡大)



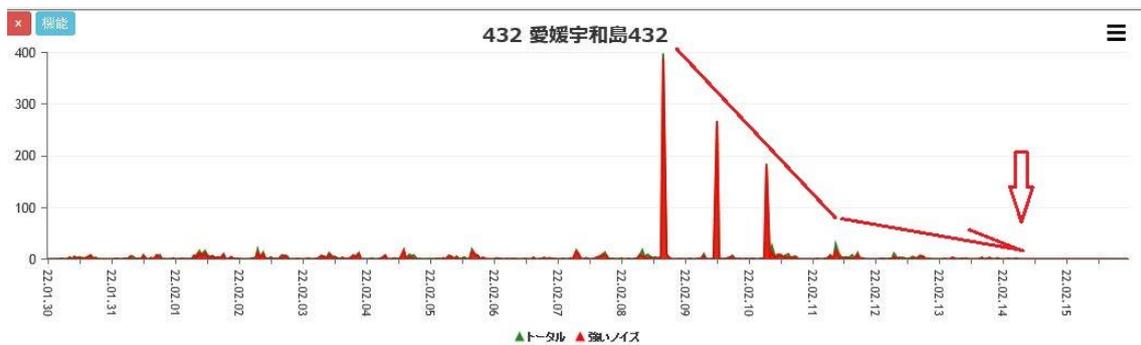
大分 別府 30日間データ (拡大)



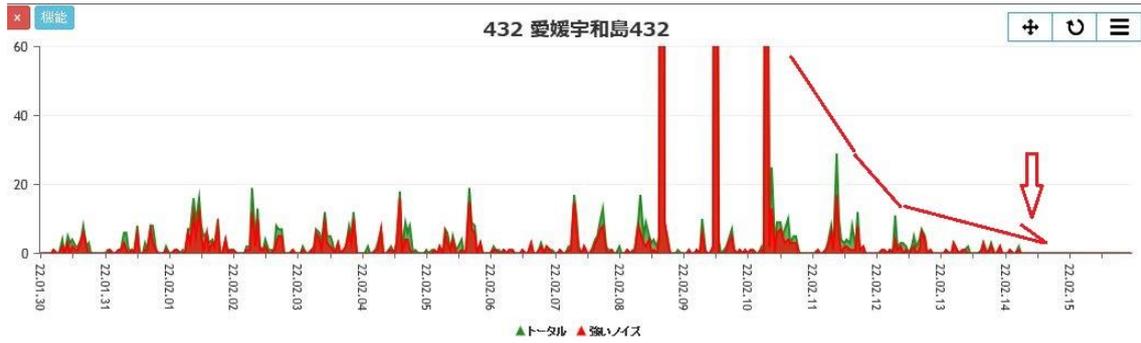
愛媛宇和島 30日間データ (拡大)



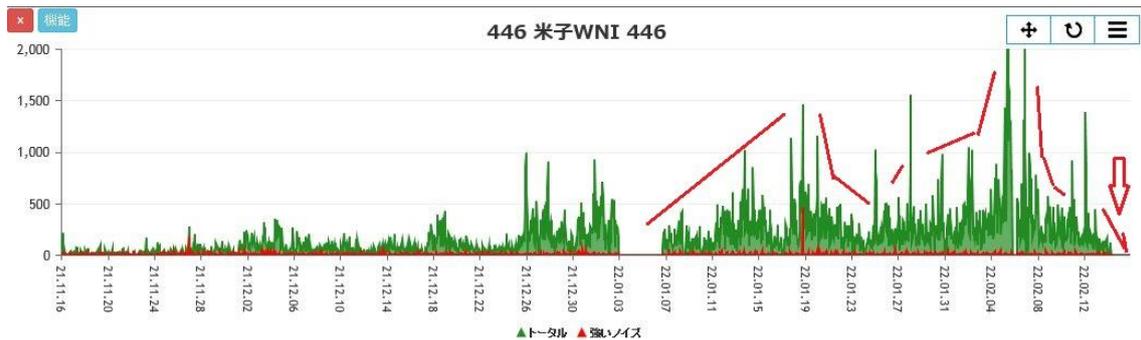
愛媛宇和島 15日間データ (拡大 その1)



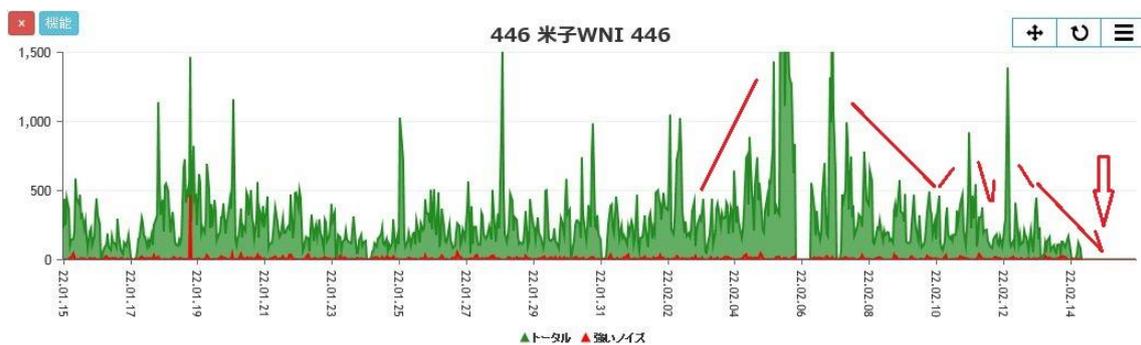
愛媛宇和島 15日間データ (拡大 その2)



鳥取 米子 90日間データ



鳥取 米子 30日間データ (拡大)

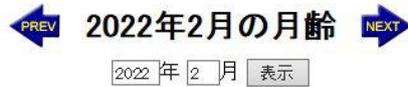


位置関係



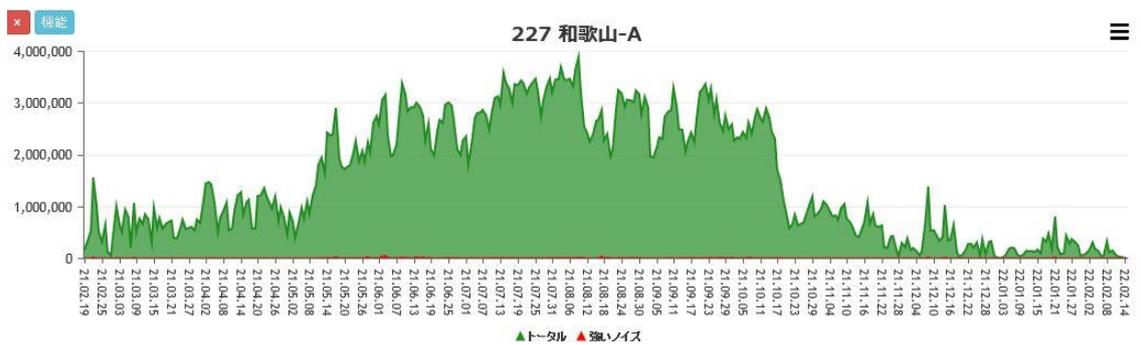
- ① の円の可能性：九州熊本から四国、山陰、山陽にかけての大地震
- ② の円の可能性：浜北 017、和歌山—A を結んだ地域での大地震
- ③ の円の可能性：浜北、伊勢、和歌山、四国、九州を結ぶ南海トラフでの大地震

明後日 2 月 15 日は満月



日	月	火	水	木	金	土
		1 29	2 1	3 2	4 3	5 4
6 5	7 6	8 7	9 8	10 9	11 10	12 11
13 12	14 13	15 14	16 15	17 16	18 17	19 18
20 19	21 20	22 21	23 22	24 23	25 24	26 25
27 26	28 27					

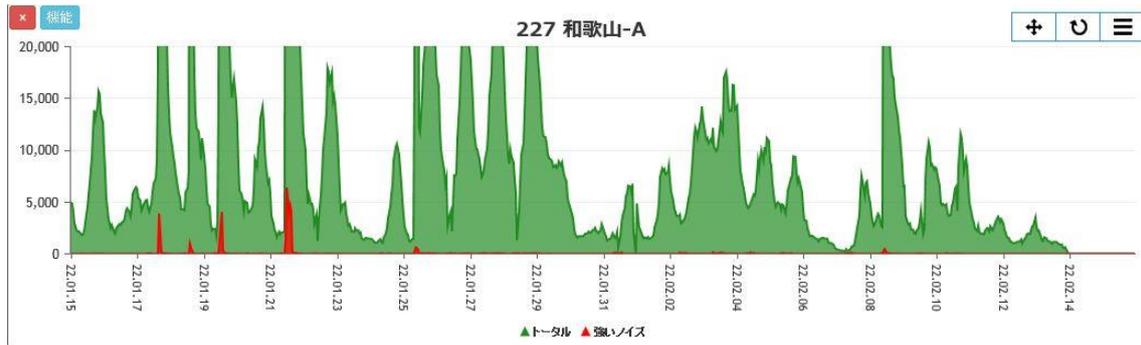
和歌山—A 365 日間日毎データ



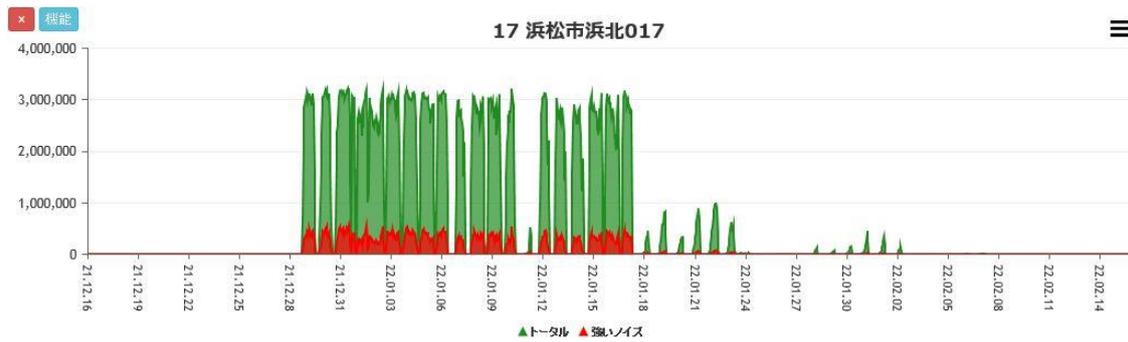
和歌山—A 30 日間データ



和歌山一A 30日間データ (拡大)



浜北 017 60日間データ



浜北 017 30日間データ



浜北 017 30日間データ (拡大)

